

症状・日常生活統合スコア (IDAS) の信頼性と妥当性に関する検討

1. 研究の対象

2024年10月1日～2025年3月31日に川崎市立井田病院緩和ケア病棟に入院中の患者さんです。

2. 研究目的・方法

目的：終末期がん患者の Quality of Life (QOL) 評価を行うことは、より苦痛が少ない最期を迎えるにあたり重要です。QOL 評価スコアである、症状・日常生活統合スコア (Integrated Distress Activity Score: IDAS) は、日常生活レベルと全身状態を医療者による 10 項目の客観的評価を行うことで統合的に評価し、グラフを用いて視覚的にも把握できるスコアリングシステムです。IDAS により終末期がん患者の症状の経過を把握し、鎮静の適応などを判断するために有用であるという報告があります。現在、IDAS を用いた複数の評価者間による有効性や信頼性に関する報告はされていません。今回の研究では IDAS による複数の評価者間の差について検討し、IDAS の有効性および信頼性を評価します。

方法：連続した 6 ヶ月間 (2024 年 10 月 1 日～2025 年 3 月 31 日) に川崎市立井田病院緩和ケア病棟に入院中の患者を対象とします。患者の QOL 評価として信頼性・妥当性が証明されている Integrated Palliative care Outcome Scale (IPOS) のスタッフ版と IDAS を用います。患者 1 名に対して 1 名の医師と 1 名の看護師が IDAS と IPOS を個別に評価し、記録を行います。医療者間の QOL 評価の差、および IDAS と IPOS による評価の差に関して検討を行い、信頼性と妥当性を評価します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテ番号、年齢、性別、病名、入院日数、IDAS および IPOS の点数等

※カルテ番号は院内コンピューターで情報を収集・整理する際にのみに用います。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先 (研究責任者) :

川崎市立井田病院 緩和ケア内科 杉 真恵

〒211-0035 神奈川県川崎市中原区井田 2-27-1

044-766-2188